

## 就労支援相談員 活動報告

11月	Vol.7	タイトル 「大切にしたいこと」	担当 就労支援相談員 M
<p>落ち葉が風に舞う頃となりました。街路樹が冬支度を始め、空は高く、空気は澄み始めています。</p> <p>育児休暇のため1年間お休みをいただいていたのですが、この春に仕事復帰しました。お休みしていた1年間にさまざまな変化がありました。</p> <p>嬉しく思ったことは、休暇に入る前に就職された方が今は1マンパワーとして戦力となり企業で活躍していたことです。ご本人の頑張りはもちろんですが、就業先企業の適切な配慮・育成など、努力をいただいていることが定着を促しているのだと思います。また、1名の雇用をきっかけに複数名の雇用へ繋がった企業もありました。障がい者が戦力になることがわかり、雇用率に関係なく雇いたいと思っていただけることは大変喜ばしいことです。</p> <p>残念なこともありました。障がい者雇用に積極的だった企業の採用担当者の変更により、障がい者雇用に取り組む姿勢が変わり雇用に消極的になってしまったり、毎回企業セミナーに参加いただいていた企業の姿が見えなかったり等、あらためて関係構築が必要なケースもありました。その中で復帰後に挨拶にうかがい、またセミナーに参加いただくようになった企業もありました。</p> <p>今は便利なツールがたくさんありますが、やはり継続して企業に足を運ぶこと、担当者に会いに行くこと、顔を見て話を聴きくことがとても大切だと感じました。企業に寄り添うことが、企業の意識を変え、雇用のきっかけを作り、企業と障がいのある方の障がい者雇用においての自立に繋がるのだと思いました。</p> <p>最近では企業訪問時に、既存の社員についてや制度に関する質問など雇用以外のご相談をお受けする機会も増えました。センターではより専門的な企業支援をするため、7月に『障がい者雇用サポートデスク』を開設しました。今後サポートデスクで対応する内容が増えていくように思います。そしてセンターにしかできない企業支援の根幹には「寄り添い」があるように思います。相談が増え多忙を極めても、企業に寄り添うことを大切にして企業支援を続けて行きたいと思っています。</p>			

5月	Vol.6	タイトル 「ひそやかな楽しみ」	担当 就労支援相談員 K
<p>道路沿いの樹々の葉の鮮やかさが目に映るこの頃、月並みですが「風薫る季節」となりました。 新年度を迎え、新たな職場や学校でスタートラインに立った方も多いのではないのでしょうか。古参の(?)私も4月のこの時期は、気持ち新たに仕事に向かっています。</p> <p>さて、センターには障がいのある方からの相談に対応、ご本人の支援計画を立てる「就労支援コーディネーター」、支援計画のもと、障がいのある方が自立して働けるよう職場で支援する「ジョブコーチ」、障がい者雇用に関する相談窓口のキャリアアドバイザーの三つの役割を担う職員で構成されています。</p> <p>キャリアアドバイザーの私は企業担当をしているため、障がいのある方の支援に直接関わることはありませんが、担当している企業へ就職した方の様子は企業訪問の際に会社の方から聞いたり、就労支援コーディネーターやジョブコーチが話してくれるので知ることができます。</p> <p>ある企業では、「社内の標語募集でご本人の作品が全社員の中で一位に選ばれたことが自分の事のように嬉しかった。」と人事の方がお話しされた時は私もまた嬉しくなりました。「ずっとここで働いてね。」とご本人へ伝えたそうです。</p> <p>またある企業では失敗談も半ばジョークを交えてお話しいただき、思わず苦笑してしまうことも。(しかしその担当者は幾度となくあった本人の失敗にもめげずに話して下さるのです。信頼関係があってこそだと思いますが・・・)</p> <p>「〇〇さんは、とても戦力になっている」、「〇〇さんは我が社になくてはならない存在です。」と企業の方に言われた時は思わず私も「ヨッシャ！」と心の中で呟いて拳を握りしめています。</p> <p>この言葉を一つ一つ聞くことが企業担当の私のひそやかな楽しみとなっています。</p>			